

はえばる 議会だより

平成27年
9月定例会
No. **191**
平成27年11月20日発行



はえばる議会だより No.191

沖縄県南風原町議会ホームページ
http://www.town.haebaru.jp

発行 沖縄県南風原町議会
編集 議会広報常任委員会

〒901-195 沖縄県島尻郡南風原町字兼城686番地
TEL(098)889-3097 FAX(098)889-4499
印刷/株式会社 近代美術

平成26年度決算認定

- 一年間の成果に意見を付け認定…………… 2
- 賛否分かれる…………… 7
- 議会報告会への要望と回答…………… 10
- 13人の議員が一般質問…………… 11

トーチカ 95人
カジマヤー 27人
新100歳 6人
100歳以上 12人

写真：長寿を祝う敬老会
題字：大城 祐輔さん
(翔南小学校6年生)



はえるん

町民の声



県内他市から南風原町に引越して4年。私は、南風原町が大好きです。県営団地から、本部公園周辺にまで咲くカンナの花に心を癒されています。花の美しさは勿論なのですが、皆さんの心意気に心を打たれると同時に、深い尊敬の念を覚えます。

さて、私は昨年の町議選挙で「投票立会人」の大役を仰せつかる事になりました。人生で初めての経験。投票日まで「選挙」の持つ意味を自らに問い直す日々を過ごしました。

道路の管理者から積極的に咎められない事もあってか「やりたい放題なんだな」との印象を受けました。町の美観は、町民の意識に支えられています。コンプレックスの徹底も求められています。議員の皆様方には、自らが率先して「美しいまちづくり」のお手本となつてくださる事を希望します。

美しい町、南風原町

宮平 戸恒 慎司さん

議会のまめ知識

Q 議会議員は年賀状を出せる？

A 選挙区内の住民に年賀状や暑中見舞などのあいさつ状を出すことは禁止されています(公職選挙法)。自筆の答礼等は認められます。

年賀状は禁止



年始のご挨拶ができないことをご了承ください。

次回定例会の開会予定
12月8日(火)午前10:00

南風原町議会中継 **検索**

- 広報委員会**
- 委員長 金城 好春
 - 副委員長 赤嶺 奈津江
 - 委員 大宜見 洋文
 - 照屋 仁士
 - 赤嶺 雅和
 - 宮城 寛諄

表紙の題字・写真をお寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか。表紙の題字と写真を募集中です。のびやかな題字や笑顔あふれるお写真をお待ちしています。ご意見・要望なども広く募集しています。

連絡先：議会事務局(担当：広報係 新城)
TEL.889-3097 FAX.889-4499
E-Mail H8893097@town.haebaru.okinawa.jp

編集後記

私たち議員は、議員改選後の任期中に所管事務調査として県外へ先進地視察に行きます。同じように、南風原町にも県外の市町村議会が研修に訪れます。

平成26年度に本町の議会改革が全国町村議会で評価されました。研修のため、10月29日に三重県川越町の議会が行政視察で来庁されました。今回は議会運営委員会で視察を受け入れました。

テーマは、議会基本条例のことでしたが、議会広報誌の作成についても聞かれました。そこで私は「私たち議会広報常任委員会は、県内はもとより県外の先進地まで研修に行き、町民が読みやすい紙面づくりを目指しています。」と答えました。

注目されていることは嬉しいことです。これからも日々努力していきます。
(担当/金城 好春)



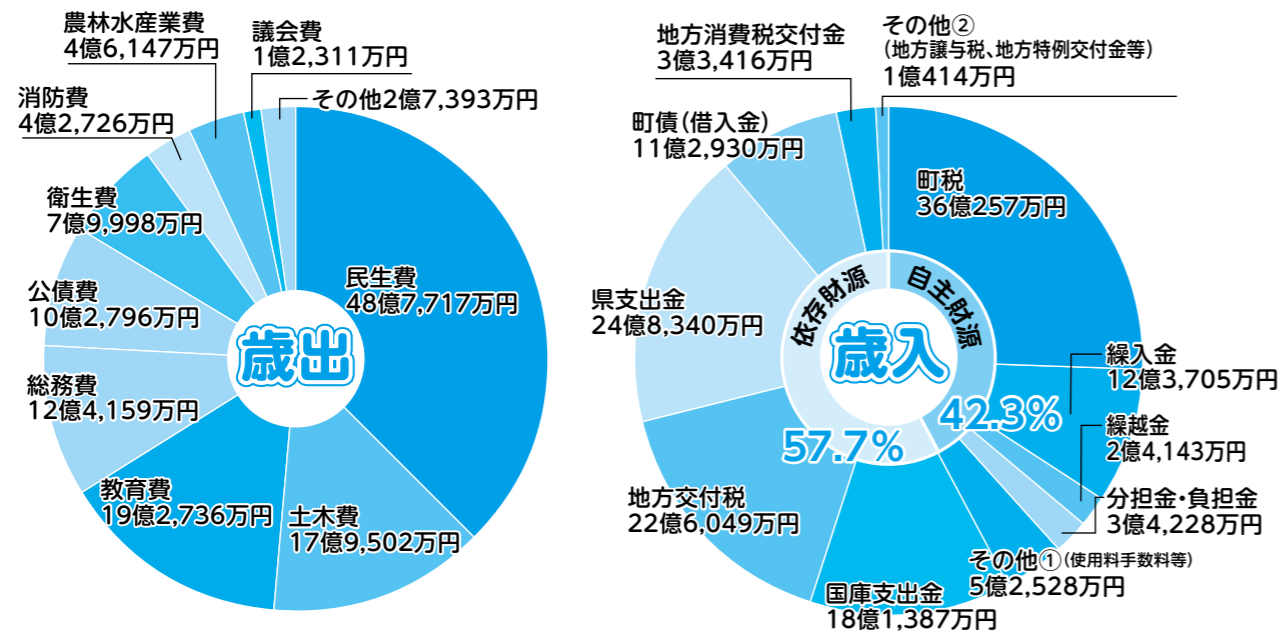
※環境保全のため、古紙配合率100%再生紙と植物油インキを使用しています。

特別会計を含み歳出総額206億1,032万円

税収増により黒字

平成26年度 一般会計歳出129億5,485万円

決算 基金繰入と



■ 歳出 129億5,485万円

■ 歳入 140億7,397万円

基金繰入 9億9,333万円増額

一般会計決算は、歳入140億7,397万円で25年度より6.4%増、歳出は129億5,485万円で0.3%減となりました。

■ 歳入：自主財源は対前年度比8億8,067万円増となりました。要因の一つに、国民健康保険特別会計の赤字を補填するため基金（貯金）の取り崩し等により9億9,333万円（407.6%）増額の繰入金があったことが挙げられます。自主財源の大部分を占める町税は1億4,509万円（4.2%）増額しています。依存財源は対前年比40.12万円減となりました。県支出金が宮城地区畑地かんがい排水等整備事業の完了等により1億2,599万円（4.8%）減となっています。

■ 歳出：毎年増加傾向にある扶助費（住民福祉のための経費）はこども医療費助成事業において対象を中学校卒業までに拡大したことや、認可保育園運営費補助金、介護給付・訓練等給付事業の増等により、前年度より11%増えました。

用語の説明

歳入	町税	みなさまからの税金	歳入	民生費	お年寄りや児童福祉、保育所運営
	繰入金	町の貯金を下ろして使う金額		土木費	道路や河川、公園の整備
	国・県支出金	使う目的が決まっている国や県からの補助金		教育費	幼稚園・小中学校教育や生涯学習
	地方交付税	自治体運営の均衡を保つため国から配分される金額		総務費	職員人事や役場全体の管理
	町債	町の借金		公債費	借金（町債）の返済
				衛生費	ごみ処理や予防接種

9月定例会

9月4日～30日までの23日間の会期で開きました。平成26年度決算を中心に、今後の行政運営に生かすよう意見を付け、6会計すべてを認定しました。また、すべての議案を可決し、一般質問は13人の議員が質問しました。

一般会計決算は意見を付け認定

事務執行ミスを防ぐ体制づくりを

不発弾処理に関する事業の補助金交付申請漏れがあった。申請漏れの原因に職員間の事務引継ミス、チェック体制の甘さが考えられる。ミスを防ぐ体制づくりに努めること。

保育料及び主食費の徴収管理強化を

保育園の保育料及び主食費の催告書は毎年3月に送付している。しかし、今回は平成27年5月中旬に送付されていた。そのため決算時点の未収入額が大幅増となった。保護者の負担の公平と財源確保の観点から取り組みを強化すること。

平成26年度 一般会計

町民1人あたり約35万円使いました。

(平成27年3月31日現在人口 3万6,989人)

主な項目ごとの内訳は…

民生費 13万1,855円	教育費 5万2,106円	土木費 4万8,528円	総務費 3万3,566円
公債費 2万7,791円	衛生費 2万1,628円	消防費 1万1,551円	農林水産費 1万2,476円

各会計別の決算（歳出）

会計	平成26年度	平成25年度	増減額	増減率	
一般会計	129億5,485万円	129億9,200万円	△3,715万円	△0.3%	
特別会計	国民健康保険	52億1,276万円	49億150万円	3億1,126万円	6.4%
	後期高齢者医療事業	2億2,492万円	2億1,724万円	768万円	3.5%
	下水道事業	8億8,208万円	7億1,329万円	1億6,879万円	23.7%
	土地区画整理事業	13億1,519万円	13億3,915万円	△2,396万円	△1.8%
	農業集落排水事業	2,052万円	3,579万円	△1,526万円	△42.6%
全会計合計	206億1,032万円	201億9,897万円	4億1,136万円	2.0%	

後期高齢者医療

保険料徴収率 99.7%です。
(滞納繰越分含む)
※ 75歳からの医療保険

国民健康保険

7年連続の赤字決算です。
平成26年度は7億6,234万円の赤字となりました。

下水道事業

津嘉山北土地区画整理区内の整備を重点的に行いました。集合住宅が多いため、時間を要しています。

農業集落排水

太陽光パネルの設置効果は設置前と比較すると削減。
電気使用量：26.1%削減
電気料金：15.7%削減

土地区画整理

事業進捗率は総事業ベースで68%です。
津嘉山ハイツ周辺を重点的に整備を行っています。

ひとこと特別会計

平成26年度決算の特徴



監査委員の指摘

代表監査委員 稲福 清
議会選出監査委員 上原喜代子

審査期間 7月6日～8月14日
意見書提出 8月24日

【具体的な指摘】
○職員は自己研鑽に努め、組織としてミスを防ぐ体制づくりに努めること
○一括交付金は、制度の趣旨・目的を踏まえ、効果的な事業として完了すること
○国民健康保険特別会計は、保険給付費の抑制に努め、引き続き前期高齢者交付金制度の是正を国に強く要望すること
○指名競争入札は、設計書金額と予定価格を同一とする社会情勢から、根拠規定を精査し例規等を整備すること



監査委員が町長に意見を提出

現場調査

決算審査のため、全員で現場を調査しました。町のお金が適切に利用されたか、直接見て確認しました。

はえるん広場、低学年が対象

子ども達が安心、安全に楽しめる遊具であるか、「はえるん広場」で遊具等を調査しました。予算審査時に指摘した、駐車場の確保もなされていることを確認しました。

問 幼児や低学年の児童が楽しめる広場とを感じる。遊具に対象年齢はあるか。

答 遊具に対象年齢を記載している。貼ったシールを貼っている。



与那覇公民館の改修と災害用備蓄品の管理は

与那覇公民館は雨漏りや亀裂が改修され、避難所として機能を有していることを確認しました。災害用備蓄品も適切に管理されています。特に、保存水は消費期限が一目分かるよう箱に日付けを記す工夫がありました。



データヘルス計画の推進

健診やレセプトのデータを活用して、PDCAサイクルを「データヘルス(予防・健康管理)計画」を確認しました。

問 医療費抑制の課題は何か。
答 慢性腎不全が同規模市町村と比べて高い率である。油を減らし、野菜を食べるよう指導している。

問 妊婦は野菜500g食べるよう指導しているのはなぜか。
答 低体重児は脂肪を蓄積しやすい体となり、小児肥満につながる。妊産婦期の食生活が重要である。



雨水幹線工事（津嘉山）

重点工事箇所である津嘉山交差点付近を確認しました。



下水道整備率 47.5%
人口普及率 56.1%
(平成26年度末)

黄金森トレーニング室

トレーナーの指導で女性や初心者でも効果的な運動ができる環境でありました。



利用時間：午前9時～午後9時30分
利用料金：町内1人2時間100円
：町外1人2時間300円

条例可決

9月定例会で提出された議案は、審議の結果、すべて可決しました。

補正予算可決

平成27年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ12億2450万円を追加し総額143億1522万円となりました。

障がい児の就学先
保護者の意見を尊重

【これまで】
就学指導委員会が児童の障がいの状況を踏まえ、就学先の決定を行っていました。

【これから】
教育支援委員会に名称を変更し、保護者の意見を尊重しながら就学先の決定を行います。入学後も支援していきます。

審査の経過における議会意見

特別支援を要する児童生徒が本町の幼稚園、小学校に入学を希望する際には、ヘルパーや環境整備などのサポート体制を強化すること。

まち・ひと・しごと
総合戦略審議会を設置

まち・ひと・しごと創生法施行に伴い「南風原町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」を設置します。委員は、公募による町民や学識経験者、専門的知識を有する者10人以内で組織します。

審査の経過における議会意見

まち・ひと・しごと創生総合戦略は、地域課題に対して中長期的視点に立った重要な計画として位置づけられる。審議会を構成する委員は、産業界・行政機関・金融機関・労働機関・言論界のさまざまな分野から人選されたい。

賛否分かれる

賛否が分かれた議案と討論があった議案についてお知らせします。また、すべての議案の賛否は町議会のホームページで公開しています。

議案	採決の結果	知念 富信	新垣 由雄	大城 勝	大宜見 洋文	照屋 仁士	赤嶺 奈津江	浦崎 みゆき	花城 清文	赤嶺 雅和	大城 毅	宮城 寛諄	上原 喜代子	玉城 勇	金城 好春	大城 真孝	宮城 清政	
南風原町手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	—
平成27年度南風原町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	—
平成26年度南風原町一般会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 —：宮城清政議員は議長のため採決に加わっていません

手数料条例の一部を改正する条例

マイナンバー通知カード・個人番号カードの再交付手数料を定めました。

反対討論 大城毅

マイナンバーに反対のため手数料条例の改正にも反対である。

- 1 国民が望んで導入された制度ではない。
- 2 プライバシー侵害や、なりすましなどの犯罪を常態化する危険がある。
- 3 行政には徴税強化や社会保障給付削減の手段となる。国民はオンラインで行政手続きができるようになる。しかし、システムのコスト負担や通知カード、個人番号の保管義務が負わされる。
- 4 今後、医療情報や銀行口座などの情報も管理されかねない。国民の嫌悪感、疑念は晴らされていない。

※平成27年度南風原町一般会計補正予算(5号)も同様の反対討論のため省略します。

通知カード

個人番号(マイナンバー)を知らせる紙製のカードです。住民登録している住所に送付されます。顔写真は掲載されません。
再発行：500円



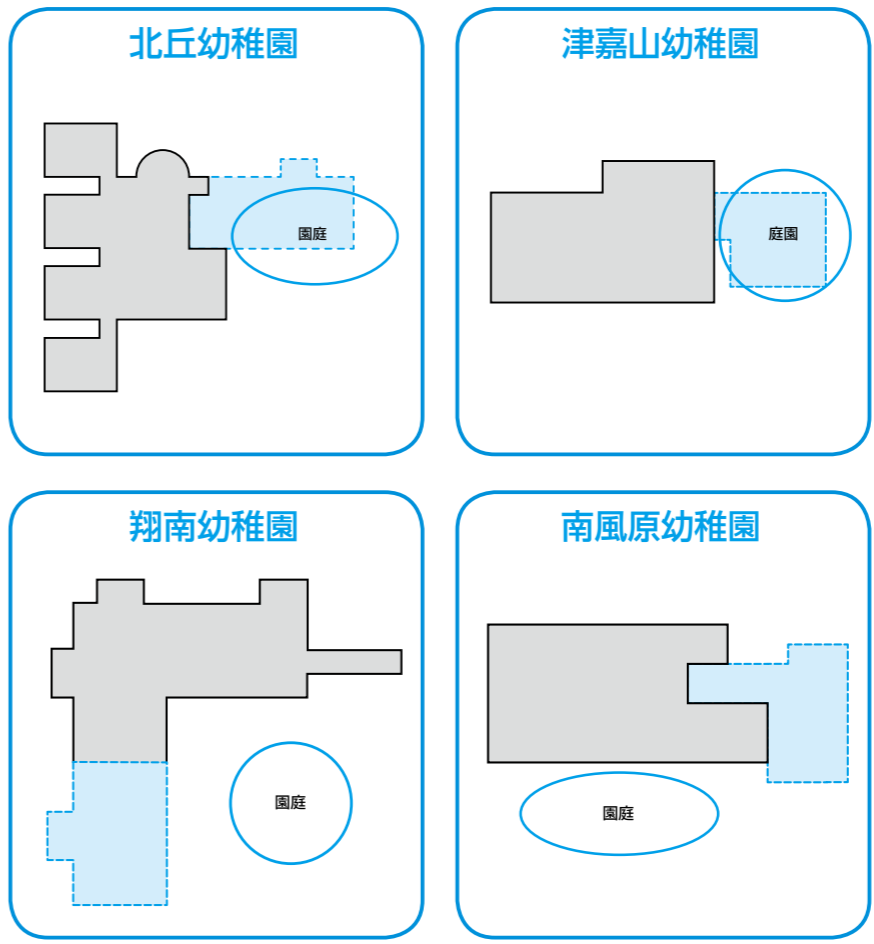
個人番号カード

チップ付カードで顔写真が掲載されます。身分証明書として利用できます。e-Tax等の申請等が行える電子証明書も標準搭載されます。
再発行：800円



マイナンバー制度のお問い合わせは
コールセンター(全国共通ナビダイヤル)0570-20-0178

4歳児受入に向けた4幼稚園の増築 総事業費1億9449万円
平成28年度の4歳児受入に向け事務室等や津嘉山幼稚園は3教室、その他は2教室の増築を行います。



委員会レポート

議案をより深く審査するため、2つの所属委員会に分かれ、必要な資料を求め、質疑しました。

総務民生委員会

委員長：浦崎みゆき 副委員長：金城好春
委員：新垣由雄・大城勝・大宜見洋文
照屋仁士・赤嶺奈津江・大城毅

准看護師を保育士にみなす

問 看護師・保健師だけでなく准看護師も保育士とみなし、算定できるようにする。保育所の運営基準はあるか。

答 乳児4人以上が入所する保育園、小規模保育事業、事業所内保育事業が対象である。

問 みなしで枠を広げるのではなく、保育士を育てることが重要ではないか。

答 県は試験の回数を増やすなど保育士確保に努めている。看護師等には医療機関との適切な連携が期待できる。

経済教育委員会

委員長：玉城勇 副委員長：上原喜代子
委員：知念富信・花城清文・赤嶺雅和
宮城寛諄・大城真孝

給食費の収納率が約5倍増

給食費の現年分・滞納繰越分がどちらも向上している。訪問徴収から「出向いてもらい、分納誓約を交わす」方式に切り換えた結果という。特に、滞納繰越分は約5倍の成果であると確認した。

○現年分【26年度分】
収納率98.1%（前年度96.5%）
○滞納繰越分【25年度以前分】
収納率20.4%（前年度4.1%）
※約5倍の徴収率

問 成果は高く評価する。しかし、滞納繰越分は多額の未納がある。現年分の徴収率を上げたうえで、不納欠損や法的処置を行う検討もすること。

答 出向いてもらう方式を継続し、状況を見ながら検討したい。



「広報はえばる」の充実を

問 「広報はえばる」の編集はどのような体制であるか。他者の眼による編集会議を開催するなど体制強化できないか。

答 町の広報担当が役場各課や各種団体から情報を収集し、編集している。内容の充実を図り、分かりやすい広報づくりを心掛けたい。

問 全世帯へ配布できているか。原則的に区長・自治会長に配布を委託している。自治会と連携し、全戸配布を目指したい。



ストレリチア（極楽鳥花）

ストレリチアの生産量が回復

問 ストレリチアは立ち枯れ（疫病）により生産量が減少している。調査研究に進展はあったか。

答 平成26年度から、疫病に対する農業補助の適用がされた。また、花卉振興対策事業での実証展示ほ等の設置も行った。それらの効果で、疫病の進展速度を抑える方法や原因究明に向け、一定の成果があった。

へちまのハウス栽培は

問 冬場のへちまハウス栽培は生産等に問題はないか。

答 ハウス栽培は路地栽培と同じ育て方では育たない。冬のハウス栽培の技術を模索中であるが確立していない。冬へちまの味も品種改良に取り組んでいる。

病児病後児保育の供給拡大を

問 病児病後児保育は町民ニーズが高い。「わんぱくクリニック」は満杯と聞く。広域化などで医療機関を増やせないか。

答 利用料金は異なるが町外の対象病院も利用できる。

問 社協のファミリサポートに、「子どもの病気時の援助」がある。周知徹底できないか。

答 病児病後児保育事業と併せて周知に努めたい。

病児病後児保育実施施設（南部）

市町村	病院名	連絡先
南風原町	わんぱくクリニック	888-1234
那覇市	安謝小児クリニック	869-0600
	こくらクリニック 支援センター さくら	855-1020 886-7018
豊見城市	松岡医院	850-9529
	ぐしこどもクリニック	850-3102
糸満市	かみや母と子のクリニック	995-3511
	くでけん小児科	994-2099
南城市	大里こどもクリニック	882-8111
八重瀬町	南部徳州会病院	998-3221

肺炎球菌予防の周知徹底を

問 高齢者の肺炎球菌予防接種が定期予防接種となった。接種率はどうか。

答 65歳から5年刻みの無料接種である。平成26年度の接種率は45%であった。接種後、おおむね5年間効果がある。

問 住民健診や敬老会等の高齢者が集まる機会に肺炎球菌予防接種の重要性を周知できないか。

答 対象者が多く集まる機会を利用した広報も検討したい。



町主催の敬老会の様子

県外議会の行政視察受入で意見交換

これからの行政運営・議会運営を考える

経済教育常任委員会

愛知県北名古屋市議会の建設常任委員会が10月21日に観光ICT事業を学ぶため本町を訪れました。

意見交換で学んだこと

両者とも大都市の隣に位置し、通過するまちであるため、観光誘客が課題です。住民には当たり前の日常が観光資源とならないか、発見する必要性を再認識しました。



経済教育委員会は観光振興がテーマ

議会運営委員会

三重県川越町議会が10月29日に議会改革をテーマに本町議会を訪れました。

意見交換で学んだこと

議員同士が自由に意見しあうことでより活発な議会運営ができるということを確認しました。また、積極的な情報公開と住民を議会運営に巻き込む工夫により住民視点の政策提案につなげていきます。



議会運営委員会は議会活性化を目指す

平成27年5月19日、28日の第4回議会報告会でいただいた町民のみなさまからの意見を9月8日に町長へ提出しました。

議会は5項目を重要な要望とし、早急な対応を求めました。その他の質問・要望に対してはもとめて報告しました。



1 子どもの保育環境改善のため保育士、幼稚園教諭の人員確保を要望する。

回答 平成27年3月に策定した南風原町子ども・子育て支援事業計画の「第5章支援策2、教育・保育園等の質の向上、(2)人材の確保の推進P78」で掲げている事項(※)を推進していきます。

- (※) 子ども・子育て支援計画
- ① 保育士の確保
- ② 幼稚園教諭の確保
- ③ 放課後の居場所における人材確保
- ④ ファミリーサポートセンターの確保

2 給食センターとJAが提携し農家に学校給食に必要な作物の年間栽培計画を立て農家の所得向上につながるような仕組みづくりに取り組むこと。

回答 学校給食での地産地消の取り組みはJAを通してへちまや冬瓜等を使用しています。数量の確保が必須となるため、JAと連携し地産地消に取り組めます。

3 各字・自治会の公民館等は地域の避難所としての位置付けもある。老朽化等による改修などについては、各自治会と調整を密に行うこと。

回答 町の要綱や規定のほか、有利な補助制度等を活用して対応していきます。

4 JAのいきいき農園は、希望者が多く不足している。農業に関心のある方は多いので遊休地をJAがまとめて借りて、農家を増やすことで品

目も増えファーマーズも盛り上がるのではないかと。行政がJAと連携して取り組むこと。
回答 いきいき農園を増やすことについて、町とJAがどのように連携して取り組むか今後協議を行います。

5 宮平地内の国場川改修工事において、台風等の警報解除後に平常時の授業が行われることになった際、現場に警備員が配置されていなかったという。子どもたちの通学路の安全確保のため警報解除後は速やかに警備員を配置すること。

回答 国場川改修工事の所管である沖縄県南部土木事務所へ台風等における警報解除後にすみやかに警備員の配置を行うよう要請を行っていきます。

幼稚園教育を推進するには

問 新支援法の実施で、県内では資格者が不足という。毎年交代の臨時職員では幼稚園教育が心配である。どうするか。
教育長 幼稚園教諭は計画的に採用する。

問 平成28年度から4歳児の保育が始まる。教室は間に合うか。
教育長 園舎は来年の3月に完成する予定である。

問 土曜日預かり保育は対象児の3%である。1園にまともではどうか。
教育長 今後も土曜日預かり保育は4園で実施する。

北丘小学校西側避難通路整備の進捗は

問 新川から北丘小学校への通学路は亀裂が入り危険である。安心して通学できるよう西側

避難通路を早めに整備できないか。
教育長 平成28年度に着工、29年度には完成予定である。

エイサー練習用の広場を

問 新川青年会は全島エイサー大会にも参加し、演技力で多くの人を魅了した。しかし、エイサー練習できる広場がなく困っている。エイサーや綱曳きができる広場を整備できないか。
教育長 体育館や陸上競技場等が使用できるよう調整する。



新川青年会のエイサー

政策を問う **ここが聞きたい**

不発弾処理で163万円が交付されない責任を問う



花城 清文 議員

答 町民の税金を無駄に使いお詫びする

問 不発弾処理に対し、県の補助金が交付される。しかし、町は3回も申請せず交付されなかった。税金は1円たりとも無駄にしないのが原則であるが、163万円も支出した町民に無駄な負担をさせたことになる。責任は大きい。町民にどう釈明するか。
町長 税金を無駄に使いお詫びする。申し訳ありません。
副町長 チェック機能を強化し、適切な事務執行に努めていく。

子ども・子育て支援を問う

問 新支援法で保育を必要とする条件が緩和された。町内の待機児童は130人もいる。その解消に向け事業計画はどうなっているか。他市町村では保育園と幼稚園の機能を併せ持つ認定こども園の取組がある。本町はどうするか。
副町長 平成29年までに待機児童ゼロを目指し計画する。認定こども園は必要性を確認する。

※記載内容は質問議員が要約し、広報委員で編集しており、全文は議会事務局やHP、図書館で確認できます。

農業振興と6次産業で 所得向上を

答 農産品加工所などの取り組みは現時点ではない



宮城 寛諄 議員

できているか。町民の要求は満たされているか。
副町長 町の人材活用事業は、ファミリーサポートセンター事業・まちづくりサポートセンター事業・人材サポートセンター事業がある。取組の活用と充実を図ることで対応していきたい。

国保会計の赤字対策は

問 一般会計から国民健康保険特別会計への繰入が平成26年度はゼロである。前期高齢者の不公平を是正するまで繰入を行わないのか。
副町長 国に要請している財政支援の有無、都道府県単位化など踏まえながら判断する。



町産スターフルーツ入りマドレーヌ

1時間1000円が設定されている。その根拠は何か。使用料金を安くすべきではないか。
教育長 旧公民館の料金を据え置いて設定した。特段、割高との認識は持っていない。ちむぐくる館は500円、文化センターは300円である。しかし、中央公民館の料金改正は考えていない。

シルバー人材センター 設立を

問 シルバー人材センターではなく、現行の事業で十分対応できるとのことだが、対応

公民館のクーラー 使用料引き下げを

問 町民から公民館のクーラー使用料が高いとの声が多い。



大城 勝 議員

町が行う 平和祈念事業への 思い入れはどうか

答 今後も世界の恒久平和を願って平和行政に取り組む

南風原町産品の推進を

問 他の自治体と比べ、本町のプレミアム付き商品券の販売筋はどうか。
副町長 手続きの簡素化、旧盆前の発売などを工夫した。近隣市町村に比べて売れ行きも良く、町民の反応も良かった。

経済建設部長 一人につき上限額3万円や、プレミアム率の工夫で販売筋は上々だと考える。

問 町民が「まずは南風原産品」という意識高揚につなげ



はえばる美風(ビューリー)PRシール

る目的で「南風原産品愛用」のシールを配れないか。
副町長 町民の意識高揚にはどのような方法があるか事例を調査・研究したい。

かすり会館の日曜日開館は

問 琉球かすり会館が日曜日も開館となった。組織改革の表れと評価したい。日曜日開館へ至った経緯はどうか。
副町長 琉球組組が自主的に行動した成果である。自治会や職員と意見交換や検討会を重ねた結果、日曜日開館に至った。

問 紺事業は町の伝統工芸のひとつである。琉球組組と町行政が連携し、紺事業を盛り上げてほしいと願う。町行政の思いを聞きたい。
経済建設部長 道行く琉球組の着物が、日頃から身近なものとして感じられるよう、町もこれまで以上に支援したい。

こんな質問もしました

- 「健康増進の日」の制定を
- サイエンスショーの効果は

問 町の平和祈念事業への思い入れの程を聞きたい。
副町長 今後も世界の恒久平和を願って平和行政に取り組む。
問 町出版の「戦世の南風原」は、平和祈念事業の趣旨に沿った読み応えのある書籍と評価する。増刷して、町民に安い値段で配本できないか。
教育長 町民の反響が良く在庫切れである。状況も確認し増刷等を検討したい。



照屋 仁士 議員

空き家、空き地対策で地域活性化を

答 一定のルール作りは必要、今後検討する

問 平成27年5月26日、空き家対策等の推進に関する特別措置法が完全施行された。空き家は全国で820万戸を超え社会問題となっている。400超の自治体が空き家条例を制定している。町内での空き家、空き地の現状はどうか。

副町長 空き家及び空き地の調査は行っていない。

住民参加を促進する方法は

副町長 草木の繁茂など隣地へ影響がある場合、個別の通報等で対応している。現段階では大きなトラブルや問題はない。

問 住民参加を促進する方法を第五次総合計画と関連付けて検討してはどうか。

副町長 第五次総合計画も住民参加の促進に努めていく。

問 法律の内容には近隣住民に迷惑をかけないという大きな趣旨がある。ただ、質問の趣旨は、南風原町の限られた面積の中で空き家・空き地を有効活用していく必要があるのではという観点である。特措法では税制上の優遇だけではない。市町村の行う事業に

- 問** 第五次総合計画の中で、次の項目も検討できないか。
- ① 町民提案手続き
 - ② パブリックコメント方法を明示
 - ③ 広聴会、座談会、審議会
 - ④ 自治会の役割
 - ⑤ まちづくり協議会、100人委員会



まちづくり住民会議によるタウンウォッチング

問 兼城地内の住宅前里道が個人用地であるとして、ブロックで封鎖されている。行政で対処できないか。

経済建設部長 里道は町有地である。以前に住宅前のブロック塀がかなり傾き危険な状態であった。ブロックの撤去指導をした経緯がある。その時境界ラインは確認した。里道を個人用地として封鎖することは防災上でも問題がある。進展がない場合は、法的措置も含め進めていきたい。

経済建設部長 町有地に積まれたブロック塀であっても個人所有の建造物となる。町が代執行で取り壊すのは難しい。法的手続きが必要になる。

大名の道路決壊 早期復旧を

問 大名地内で発生した町道10号線の決壊原因は何か。

副町長 道路沿線で住宅開発に伴う造成工事の影響である。決壊の原因は地滑りが発生したことである。

問 町道10号線の道路計画に支障はないか。

副町長 道路の計画では鋼管杭による地滑りの対策工法を予定している。支障はなく、計画では平成31年度完了で進めていく。

公園の芝管理人の拡大を

問 黄金森公園野球場や本部公園の芝管理はどうか。

経済建設部長 陸上競技場以外は町の維持管理作業班が芝の管理をしている。

里道の建造物撤去を

答 法的措置も含めて進める



知念 富信 議員



里道に積まれたブロック塀

問 里道の建造物をどのように対処するか。

問 造成工事の申請はどのように受理したか。

経済建設部長 開発関係は県の許認可である。県は工事の際に地滑りの可能性があるため、町と協議を行うようにと指導している。町は施工業者との協議で、土留め工事を先行してから造成工事に着手することを確認した。しかし指導が守られていなかった。

問 町の管理公園は芝管理人による芝の維持管理が必要ではないか。

経済建設部長 芝管理人は芝人事業で技術を習得した職員と臨時職員の2人体制である。町管理の4園と計画中の津嘉山公園パークゴルフ場で芝植栽がされる。その際、芝管理人の技術を活用して対応したい。

国民健康保険の

広域化の見通しは

答 国もまだ事務レベルの段階である



上原 喜代子 議員

問 平成30年度より都道府県は国保財政運営で広域化になる。進捗状況はどうか。

副町長 国は国保基盤強化協議会の事務レベルワーキンググループを設置した。そこで政省令事項など詳細を決めている状況である。県と町の協議等は行われていない。

どうなる国保会計の赤字

問 平成26年度決算で町の国民健康保険特別会計は約7億6000万円の赤字決算となった。国保財政に関する国の新たな支援策で27年度中

に1700億円の低所得者支援費がある。沖縄県へは30億円の配分というが決定されたか。

付拡充が決定されると国全体では次第に赤字が解消されると試算される。しかし、沖縄県には独自の特殊事情がある。新たな財政措置や支援策を国へ要請しなければ、それだけでは足りないと考ええる。

民生部長 国全体で1700億円は決定された。各県に配分されるが、市町村ごとの金額はこれから決定される。

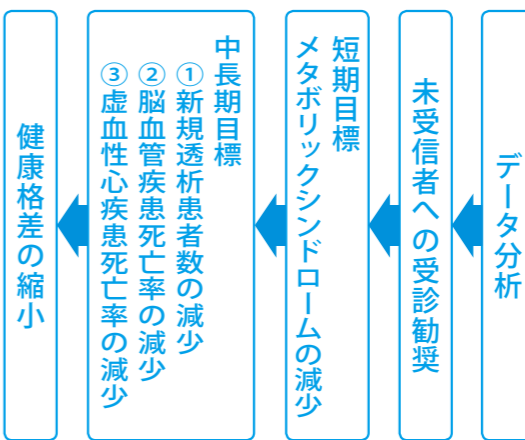
問 沖縄県は平成24年度にすでに国保赤字が100億円である。財政支援だけでは赤字解消どころではない。この件をどう考えるか。

民生部長 国は1700億円の拡充をする。平成29年度からさらに1700億円を追加する。合計億3400億円の財政支援が行われる。追加交

問 平成25年度、26年度を比較すると国保赤字等の影響で町の財政調整基金は目減りが著しい。扶助費の伸び率も11%と高い数値である。さらに町債残高は約175億円もある。国保の赤字を抱えたまま平成30年までどう乗り切るか。

副町長 国の財政支援の拡充

を期待したい。町自身もデータヘルス事業の推移やジェネリック医薬品の使用促進等をしていく。医療費の適正化事業を推進していくことで国保財政の改善を図っていく。



データヘルス計画の目指す方向性

カンナで点を結ぶ景観を

問 点在する交差点(宮平学校線)津嘉山公園予定地)にツナガリを持たすよう、カンナの花を植栽できないか。

副町長 地域住民と協働で植栽し、ツナガリを持つ景観としたい。

青年会、神里女性会から申請があった。申請件数が少なく、以後の事業は継続していない。要望等があれば検討したい。



赤嶺 雅和 議員

国民健康保険

特別会計の増を問う

答 制度改正と医療費の伸びを見込んで増となった

問 国民健康保険特別会計は何か増額の原因か。

副町長 平成27年度と26年度の当初予算を比較して10億4278万円の増であった。制度改正による保険財政共同安定化事業の拡大に伴う増が7億594万円で主な原因である。医療費の伸びを見込んで増となった3億9983万円も主な原因のひとつである。

問 医療費増の詳しい説明を求む。

副町長 医療諸費と高額医療費は平成26年度決算見込額に過

去3年間の平均伸び率を乗じた。後期高齢者支援金と介護納付金は平成26年度決算見込額を計上した。

問 医療費増に伴う国保会計の増はさまざまな施策を行い削減に励んでいる。特定健診のデータを基に長期的な体重推移で健康指導することも良い方法と思う。体重の削減は医療費の削減に繋がる。高血圧、高脂血症、糖尿病の予備軍等も多い。町民に体重削減を大いに呼びかけてほしい。医療費の抑制にどう対処するか。

副町長 データヘルス事業の推進や特定健診の受診率向上を目指す。保健指導実施率の向上やジェネリック医薬品の使用促進などで医療費の抑制に取り組む。

青年会に対する支援は

問 青年会活動の文化芸能活動に対する支援はどうなっているか。

教育長 平成24年度に地域伝統芸能継承団体補助金として青年会、女性会に補助の募集した。結果、喜屋武と照屋の



照屋青年会の演舞(スイス)



金城 好春 議員

電線かさ上げで津嘉山綱曳きを優雅に

答 実施できるよう関係機関に要請する

問 津嘉山区には首里王府から賜った御拝領旗がある。綱曳き当日は東(アガリ)、西(イリー)それぞれの御物(ゲムチ)を出発して旗頭を先頭に津嘉山小学校まで道ズネーで優雅に進む。しかし、電線が旗頭より低い位置にあり、旗頭を妨げている。美しさが途切れてしまう。綱曳き行列コース上の電線のかさ上げができないか。

教育長 実施できるよう関係機関に要請していく。

津嘉山小学校の環境整備を

問 津嘉山小学校の運動場入口に建設された東屋の茅葺き屋根は、長い年月で茅が腐食して穴だらけとなっている。修復して教材用として保存できないか。

教育長 茅葺き屋根の修復は40周年記念事業のPTA作業を中心に計画している。



茅葺き屋根の東屋

問 町道や公園の除草作業で刈り取った茅を東屋の修復に利用できるか。

教育長 町道などの除草作業で刈り取った茅が使用できる茅であればPTAや学校と連携して搬送できるよう相談する。PTAの40周年記念事業にできる限り協力したい。

食して危険である。早急に修復できないか。

教育長 早急に修繕する。

津嘉山の町道認定を問う

問 津嘉山1821番地4の仲里マンション前から1664番地1前までの区間を町道認定できないか。

副町長 沿道の6筆は分筆も町への所有権移転もできない。そのため町道認定できていない。現在、地権者と交渉を進めている。6筆のうち、3筆の地権者から同意を得た。今後も残りの3筆の同意が得られるよう地権者への交渉を続け、町道認定に向けて取り組んでいく。

問 津嘉山小学校運動場に設置されているバックネットは、長い年月により鉄パイプが腐

問 プレミアム商品券の購入世帯数は何件か。

経済建設部長 現在、把握しているのは3245世帯で、全体の24%の購入となる。

問 販売促進用のチラシには発行総数の記載がなかった。ハガキが届いた人には全世帯が購入可能と受け取れた。一次販売は、全世帯を購入可能にすべきではなかったか。

副町長 販売時に数量の変更が生ずるおそれがあった。チラシへの発行総数の表示は見送った。消費喚起の効果や事業実施の観点から、現計画が最善と判断した。

町内の学童保育の状況は

問 翔南小学校区の待機学童の課題は解消されたか。

教育長 平成27年8月20日時点で待機学童はない。

問 南風原小学校は支援を必

要とする児童生徒の数が他校に比べ多いと聞く。校区内の学童で預かりに関して問題はないか。

教育長 支援を必要とする児童生徒の預かりに関する問題等は寄せられていない。

問 町内での支援を必要とする児童生徒の学童受入の状況はどうか。

副町長 支援を必要とする児童生徒の受入は町内14学童のうち9学童で14人である。
・北丘小区で3学童に3人
・南風原小区で2学童に6人
・津嘉山小区で2学童に2人
・翔南小区で2学童に3人

図書館運営を問う

問 キッズパーク開催時に図書館が閉館であった。子育て支援に逆行しているのではないか。

教育長 当日は図書館の休館日であった。調整がなかったのではないか。

増加する医療費対策は

問 年々医療費は増加している。各学・自治会単位でインセンティブ(奨励金)を付けた医療費削減のキャンペーンは可能か。

副町長 年度内に厚生労働省がインセンティブの仕組み等を示す。そのガイドラインを参考に本町に合ったインセンティブの与え方を検討したい。



特定健診協力員説明会の様子

こんな質問もしました

- 無農薬でブランド力強化を
- キッズパーク誘客に向け
- 小中学校の教育環境は
- 開邦高校の中高一貫に向け
- PPP手法(官民連携)は

プレミアム付き商品券は全世帯購入可能にすべきではなかったか

答 消費喚起等の観点から、現計画が最善と判断した



大宜見 洋文 議員

答 実施できるよう関係機関に要請する

問 南風原小学校は支援を必



大城 毅 議員

新基地建設を止めさせるうえでどう行動するか

答 県知事と行動を共にしていきたい

問 国・県集中協議後の新しい情勢のもと、新基地建設を止めさせるうえでどう行動するか。

町長 辺野古基地の問題は翁長県知事と行動を共にしていきたい。

小中学校へ冷水器の配置を

問 小中学校への冷水器の配置を進めるべきではないか。

教育長 小学校は冷水器の設置予定はしていない。中学校はすでに各フロアと体育館に設置されている。現状のままが良いと考えている。

問 南星中では各フロアの冷水器に行列ができるという。結局休み時間が潰れてしまうことがたびたびあると聞く。冷水器を増やすべきだ。

教育長 南風原中学校は新築の時に添え付けの冷水器が整備された。南星中学校も大規模改造時に設置を検討していく。

喜屋武の排水溝に蓋掛けを

問 喜屋武8番地横の排水溝は蓋がなく危険な状態である。悪臭も発しており、周辺から苦情がある。排水溝に蓋掛けすべきではないか。



喜屋武8番地横の排水溝

副町長 民地と民地との間に蓋が設置されていない。道路に接している危険箇所は蓋掛けや転落防止柵を設置している。町内には未整備の排水路がある。道路端にも蓋なしの排水路が

ある。優先度の高い箇所から順次整備する。

沖繩銀行南風原支店前のバス停の屋根はどうなった

問 沖繩銀行南風原支店前のバス停屋根が未設置であることを6月定例会で質問した。7月にバス協会が設置すると副町長が答弁している。どうなっているのか。

副町長 バス協会に再度確認をした。現在、屋根の設計は完了している。しかし、屋根の一部について国道の道路占用許可が必要であると判明したという。近日中午に南部国道事務所と協議を行う予定とのことである。

ピロリ菌除菌で胃がん予防対策の強化を



浦崎 みゆき 議員

答 早い時期に取り組んでいく方法を検討したい

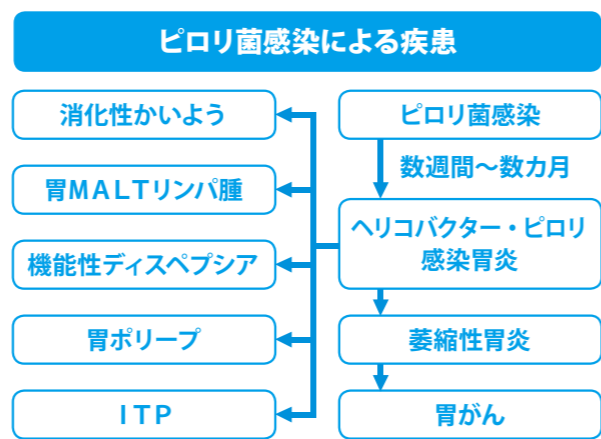
問 胃がんの原因にピロリ菌がある。平成25年よりピロリ菌の除菌が保険適用となった。町民への周知活動はどうなっているか。

民生部長 ピロリ菌の検査と除菌は慢性胃炎の方にも保険適用が拡大された。周知は特に行っていない。ピロリ菌とはどういうものか、予防の観点から広報活動をしていく。

問 ピロリ菌感染者が胃がん患者の80%を占めていると報告もある。ピロリ菌検査の無料クーポン券を助成できないか。

町長 町も予防が一番大事だと考える。担当課も胃がん予防を前向きに検討している。早い時期から取り組める方法を検討する。

民生部長 集団健診の胃がん検診はこれまでX線検査のみであった。次年度あたりから内視鏡も実施する方向性が示された。ピロリ菌検査は費用面も含め調査・研究したい。



要援護者の個別計画を急げ

問 災害時の要援護者名簿と個別計画の状況はどうなっているか。

副町長 災害時要支援者名簿を基に貸与名簿を作成した。平成27年6月に社協、民生委員、児童委員へ見守り・協力を目的に貸与している。

民生部長 民生委員やソーシャルワーカーが支援の必要を確

認後、個別の台帳整備を行う。

問 災害者要支援者名簿が活用されるまで時間を要している感がある。こんなに長かかるのか。

民生部長 名簿提供には個人情報の問題があり、時間がかかっている。要援護者の支援プランをできるだけ早く策定するよう取り組んでいく。

空き家の活用促進を

問 本町の空き家実態調査は行なわれているか。町が仲買となつて空き家を活用する施策の考えはないか。

総務部長 特別措置法に定義する空き家の調査は行っていない。同法律で緩和措置もある。どの観点から調査ができるか、細かい視点も必要である。どの方法がいいのかも含めて検討したい。



玉城 勇 議員

生活困窮者対策は どうなっているか

答 各種制度を町民に周知していく

問 町内に65歳以上で無年金である住民は何人いるか。
副町長 平成27年3月末現在、本町の65歳以上人口は5706人である。高齢者年金受給者が5528人である。その差の178人が無年金者と推測される。

問 無年金者対策をどのように考えているか。

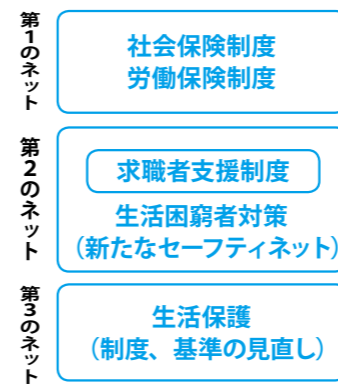
副町長 将来無年金者とならないよう、日本年金機構では受給資格期間を25年から10年となるよう法律改正が予定されている。

- ① 過去10年以内の年金保険料を納付できる後納制度
 - ② 60歳から70歳未満まで加入できる任意加入制度
 - ③ 経済的理由により納付困難な方への保険料免除制度
 - ④ 若年者納付猶予制度
 - ⑤ 失業による特例免除
- これらの制度を整備して対策を講じる。町民への周知が重要だと認識している。

問 年齢が上がるとともに生活困窮者は増加していく。救済対策はどのようになっていくか。

副町長 平成27年4月1日から生活困窮者自立支援法が施行された。第2のセーフティネットを充実強化するものである。福祉事務所、設置自治体が自立支援機関を設置し、就労やその他自立に関する相談支援等を実施していく。

制度改正の全体像



軽 困窮の度合い 重

入園の臨時的措置を

問 転入者が児童の保育園入園を希望しても町立・法人保育園に入園できないことが多い。

総務部長 本町はコンパクトな地域であり、コミュニケーションは取れていると感じている。制度の詳細等の情報収集に努めたい。

児童生徒の生活習慣病予防を

問 児童生徒の生活習慣病の状況を把握しているか。
民生部長 学校保健安全法の中では健康診断の検査項目に含まれず把握できない。生活習慣病予防に向け、状況把握は必要と考える。

問 町は子ども医療費を拡充し、重病化を予防している。生活習慣病チェックは子ども達自身が見直す教育にもつながるのではないか。

民生部長 町では妊婦の時期から生活習慣病予防に取り組んでいる。健康教育の面でも検査が必要であるという認識はある。財源確保も含め検査

問 南風原町は生活の利便性が非常に良く転入者も増えている。取組は遅れていないか。
民生部長 子ども・子育て支援新制度に基づく計画を当初の予定より前倒しで取り組んでいる。

問 マイナンバー不着がある場合、どう対応するか。
副町長 郵便物の返戻や居住実態が不明な場合は実態調査をし、不着にならないよう努める。

町職員の増員を検討しているか

問 役場正職員の採用に比べ、臨時・嘱託職員が増えているように感じる。現状はどうか。
副町長 正規の職員数に対する臨時・嘱託職員数の割合は、増加傾向である。

町職員の増員を検討しているか

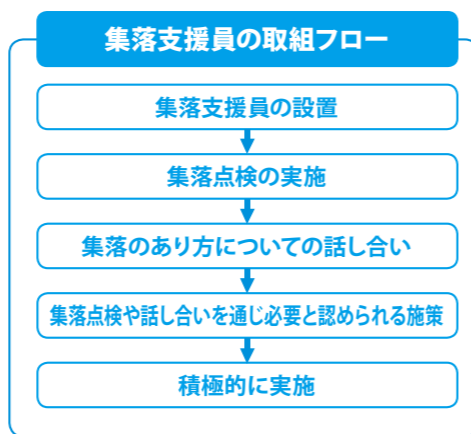
問 本町は年々人口が増加している。国・県からの事務や権限移譲などで業務量も増えている。今後の業務量を見込み、職員の増員を検討してはどうか。
副町長 国・県からの事務権限の移譲がある。町民の行政に対するニーズも多様化している。制度改正への対応、さらに、人口増加で事務量は確実に増加している。職員の増は、財政事情等を含め総合的に検討する時期にきている。

集落支援員制度で 町民視点の まちづくりを



赤嶺 奈津江 議員

答 制度の詳細を含め調査を行う



問 今後のまちづくりに町民の声を反映するため、地域の実情に詳しい人材と連携する必要がある。集落支援員制度を検討したことはないか。

副町長 集落支援員制度の活用は、制度の詳細を含め調査していく。

問 国から財源手当として支援員1人当たり350万円支給される。区長など他の業務と兼任でも1人当たり40万円の財源手当がある。自治会加入や地域貢献のきっかけにもなる。集落支援員を活用できないか。